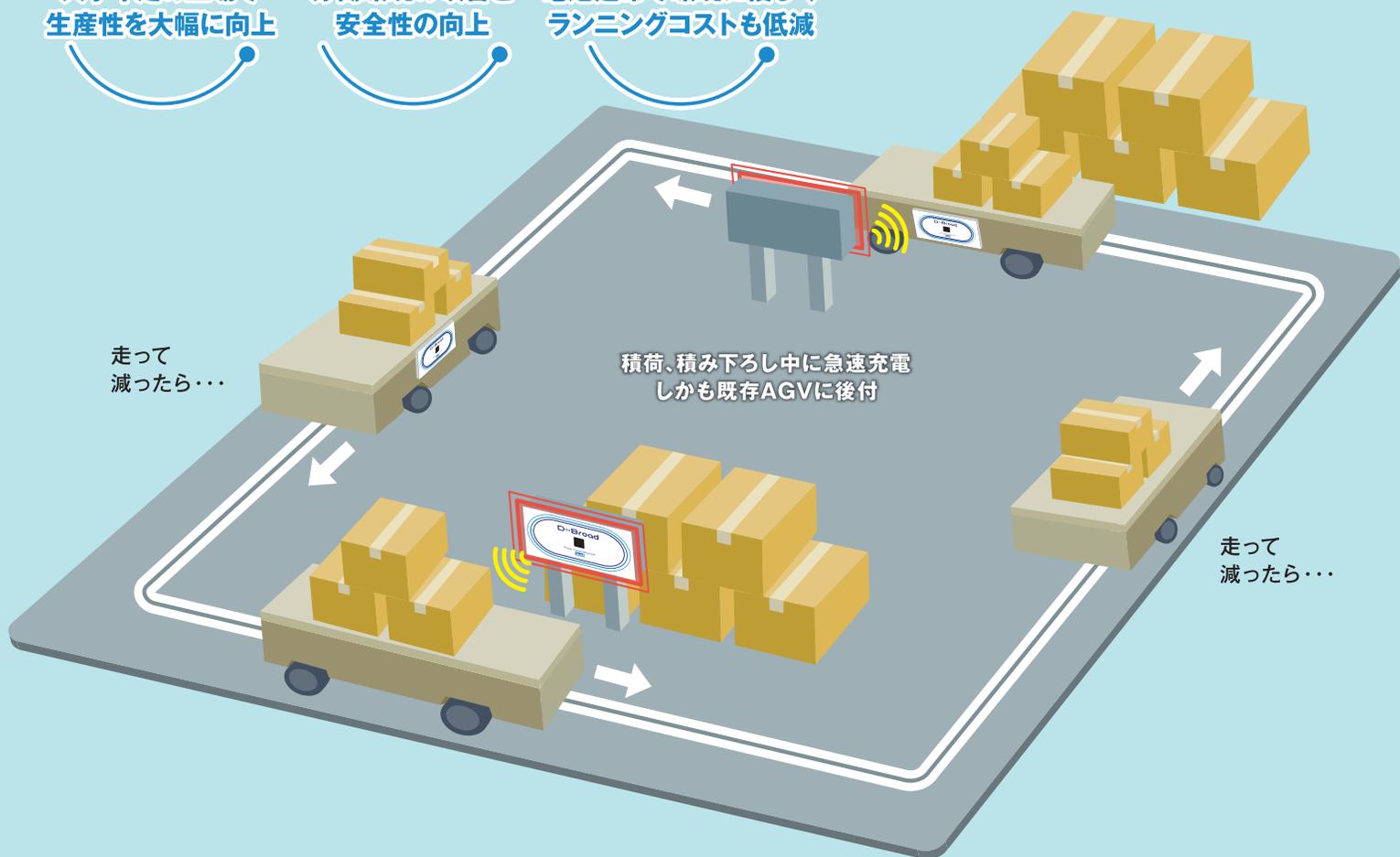


AGVの充電を自動化しませんか？

搬送自動化だけでなく充電も自動化を

- 1 人手不足の工場で生産性を大幅に向上
- 2 労働環境の改善と安全性の向上
- 3 電池延命で環境に優しくランニングコストも低減



AGVが1周走った時に消費した電力を、
ライン上で自動充電してあげることで、
24時間稼働を実現できます。

[導入メリット試算表]
測定結果から、ランニングコストや投資回収年数、省エネ効果などを試算

D ^{III} Broad		導入メリット試算表		DAIHEN	
AGV	10 台/港用	年間稼働日	240 日	電池交換作業時間	300 秒/週
工場稼働	15 H/日	人員数	2.5 名/台/日	鉛蓄電池単体(24V)	70 千円
交代数	2 回	電池交換回数	2 回/台/年	鉛蓄電池交換頻度	1 回/年
				LIB単体(24V)	300 千円

	電気交換 (H/年)	電気交換 (千円/年)	電気料 (千円/年)	設備費用 (千円/年)	設備 (千円)	設備 (台)
改善前(有線充電(鉛蓄電池))	800	2,000	1,400	200	300	-
改善後(ワイヤレス充電(鉛蓄電池))	0	0	933	133	279	4
改善後(ワイヤレス充電(LIB))	0	0	300	0	186	1

省エネ効果
20.9%/年 7.0%
114.0千円/年 38.0%

1. 初期コスト
2. ランニングコスト
3. 投資回収年数

自動化検討は、
今からでも遅くありません。
私たちが**消費電力**を
無償測定します。

AGVに測定器をとりつけて、
1~2周、短時間でデータ測定します。
余計な手間は取らせません。

後日シミュレーション結果を送付します。
1週の消費電力さえ知っていれば
ライン改善検討にも便利。

シミュレーション内容

- 必要な充電時間
- 必要な送電ステーション数
- おすすめのバッテリー
- 初期費用や投資回収期間

ダイヘンの AGV用ワイヤレス充電システム



D-Broad
mini



1
送電ユニット
一次側電源に接続
高周波(85kHz)に変換

2
送電コイルユニット
電気エネルギーを
磁気エネルギーへ変換伝送



ワイヤレスで
エネルギーを伝送

3
受電コイルユニット
受け取った磁気エネルギーを
電気エネルギーに変換

4
受電ユニット
電池と接続する
電池を監視し安全に充電

AGVの停止位置に設置

AGVに搭載

モデル	CORE	Slim	Mini
コイル間ギャップ		最大40mm	
最大充電電流	60A	30A	20A
最大充電電圧	60V		30V

搭載例



充電システム事業部 営業部
〒532-8512 大阪市淀川区田川2丁目1番11号
TEL 06-7167-6953 FAX 06-6308-0977
E-mail: info.wireless@daihen.co.jp
<https://www.daihen.co.jp/d-broad/>

